

貯法：室温保存
使用期限：外箱に表示の使用期限内
に使用すること

抗ヒスタミン剤
日本薬局方

※承認番号	21900AMX01281
薬価収載	1956年10月
販売開始	1958年10月
再評価結果	1975年12月

※ クロルフェニラミンマレイン酸塩散

Chlorpheniramine Maleate Powder

※ **ビスミラー®** 散1%



※※【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

- (1)本剤の成分又は類似化合物に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2)閉塞隅角緑内障の患者〔抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある。〕
- (3)前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者〔抗コリン作用により排尿困難、尿閉等があらわれ、症状が増悪することがある。〕
- (4)低出生体重児・新生児〔中枢神経系興奮など抗コリン作用に対する感受性が高く、痙攣など重篤な反応があらわれるおそれがある。〕

※【組成・性状】

1. 組成

ビスミラー散1%は1g中クロルフェニラミンマレイン酸塩（dl-体）10mgを含む散剤である。
添加物として乳糖水和物を含有する。

2. 製剤の性状

ビスミラー散1%は白色の散剤である。

【効能・効果】

蕁麻疹、血管運動性浮腫、枯草熱、皮膚疾患に伴う痒痒（湿疹・皮膚炎、皮膚痒痒症、薬疹）、アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽

【用法・用量】

dl-クロルフェニラミンマレイン酸塩として、通常成人1回2～6mg（本剤0.2～0.6g）を1日2～4回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

※※1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1)開放隅角緑内障の患者〔抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある。〕
- (2)眼内圧亢進のある患者〔抗コリン作用により眼内圧が上昇し、症状が増悪するおそれがある。〕
- (3)甲状腺機能亢進症の患者〔抗コリン作用により症状が増悪するおそれがある。〕
- (4)狭窄性消化性潰瘍、幽門十二指腸通過障害のある患者〔抗コリン作用により平滑筋の運動抑制、緊張低下が起こり、症状が増悪するおそれがある。〕
- (5)循環器系疾患のある患者〔抗コリン作用による心血管系への作用により、症状が増悪するおそれがある。〕
- (6)高血圧症の患者〔抗コリン作用により血管拡張が抑制され、血圧が上昇するおそれがある。〕

2. 重要な基本的注意

眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には**自動車の運転等危険を伴う機械の操作**には従事させないよう十分注意すること。

3. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
中枢神経抑制剤 アルコール	相互に作用を増強することがあるので、併用する場合には減量するなど慎重に投与すること。	本剤の中枢抑制作用により、作用が増強される。
MAO阻害剤		本剤の解毒機構に干渉し、作用を遷延化し増強することがある。
ドロキシドパ ノルアドレナリン	血圧の異常上昇を起すおそれがある。	本剤はヒスタミンによる毛細血管拡張を抑制する。

4. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1)重大な副作用

再生不良性貧血、無顆粒球症：再生不良性貧血、無顆粒球症があらわれることがあるので、血液検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止すること。

(2)その他の副作用

	類 度 不 明
過 敏 症 ^{注)}	発疹等
精神神経系	神経過敏、頭痛、焦燥感、複視、眠気等
消化器	口渇、胸やけ等
泌尿器	多尿、排尿困難等
血液 ^{注)}	血小板減少等
肝 臓	肝機能障害（AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-Pの上昇等）

注) 症状があらわれた場合には投与を中止すること。

5. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので慎重に投与すること。

6. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。
〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

※※【薬効薬理】¹⁾

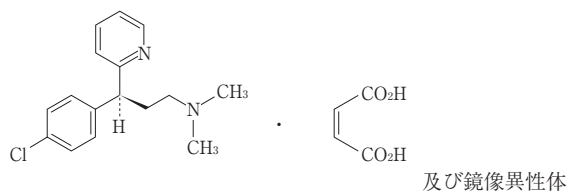
ヒスタミンH₁受容体遮断薬。H₁受容体を介するヒスタミンによるアレルギー性反応（毛細血管の拡張と透過性亢進、気管支平滑筋の収縮、知覚神経終末刺激による痒痒、など）を抑制する。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：クロルフェニラミンマレイン酸塩（マレイン酸クロルフェニラミン）

化学名：(3*RS*)-3-(4-chlorophenyl)-*N,N*-dimethyl-3-pyridin-2-ylpropylamine monomaleate

構造式：



分子式：C₁₆H₁₉ClN₂·C₄H₄O₄

分子量：390.86

融点：130～135℃

性状：白色の微細な結晶である。酢酸(100)に極めて溶けやすく、水又はメタノールに溶けやすく、エタノール(99.5)にやや溶けやすい。希塩酸に溶ける。水溶液(1→20)は、旋光性を示さない。

【包装】

500 g

【主要文献及び文献請求先】

1)第十七改正日本薬局方解説書，C-1726（2016）

※【文献請求先】 扶桑薬品工業株式会社 研究開発センター 学術部門
〒536-8523 大阪市城東区森之宮二丁目3番30号
TEL 06-6964-2763 FAX 06-6964-2706
(9:00～17:30/土日祝日を除く)

製造販売元



扶桑薬品工業株式会社

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

SG-112-112A